

令和3年4月21日

氷見市長 林 正之 様

菟田区長 山崎 外美雄
(住所)



菟田地区内の改修・補修等の要望

前年度、喫緊に改修等をする必要のある箇所について善処していただき、ありがとうございました。改めてお礼を申し上げます。

さて、去る3月、自治会役員、圃場代表、営農代表等で村内を巡視したところ、防災や安全、維持管理の面から、改修・補修の必要性がある箇所を確認いたしました。

ここに、下記の通り要望いたしますので、宜しくお取り計らいくださるようお願い申し上げます。

記

1 垂姫川中流(写真①②、地図B)の護岸堤補強工事【治水・防災・環境保全】

令和2年度、市の「水路支援整備地域支援事業」により、例年集中豪雨で氾濫する川の一部について、村内有志の協力を得て浚渫工事を実施しました。しかし、当該箇所とは別の箇所(写真①②、地図B参照)は、護岸堤が崩れ落ち、放置すると浸食により道路が陥没すること、及び台風など多量な降水量の祭、周辺の道路や水田へ冠水被害を及ぼすことがあります。

前年度本件を要望した際、市では令和3年度以降、年次計画を立てて少しずつ対応したいという回答がありましたので、今年度から着手していただけるようお願いいたします。

2 市道(避難道)への冠水防止(写真③④⑤⑥、地図C)工事【防災・安全な生活】

菟田368番地、369番地、370番地、371番地、371-3番地前の市道一帯が、毎年、大雨の時に冠水(地図C、写真③④⑤⑥)し、近隣住民が大変不安に思っています。原因は用水路の幅が狭いことに加え、用水路から市道を横切って続くトンネル状の排水路が狭く且つ急角度なため、多量の降水量を処理することができないためと考えられます。

この箇所は、大雨により灘浦方面へ続く国道160号が菟田地区で封鎖された際の重要な避難道の役割を担うため、是非、現地を確認の上、対処の程、お願いいたします。

3 市道崩落箇所の早期改修(写真⑦⑧⑨、地図A)【避難道確保・ため池保持のための通路確保】

菟田地区の中核的ため池である菟田大池、六ヶ谷内大池堰堤がイノシシ被害により、随所に穴が掘られ、放置すると決壊の危惧もあったため、昨年度、多面的機能支払事業による財政的支援と住民の奉仕作業により補強工事並びにイノシシ防御策を設置し、ため池管理に努めています。



しかし、このため池に通じる道路（重要な避難道でもある）が、近年の大雨により路肩が崩れ、放置すると道路としての機能低下が心配されます。自治会としては、特に危険が予想される約70㍍ほどに、虎ロープを張り、住民に通行時の注意喚起を呼びかけるなど予防措置を講じていますが、是非、当該箇所を専門的な見地から見ていただき、持続可能な道路として機能するよう対処の程お願いします。

4 藪田児童公園遊具の修繕【憩い・観光拠点への提言】（写真⑪⑫⑬⑭、地図E）

前年度は、要望事項であった安全防止策（市道沿いが急な斜面のため）やトイレに人感センサー付き照明（曇天時や夜、暗くて不安、節電効果）を設置していただき、住民から大変喜ばれています。

今後、村民はもちろん浅野総一郎翁の銅像見学や公園を訪れる家族連れ等の来園者に親しまれる憩いの場となるよう、開園当初（昭和50年代）から設置されているコンクリート製の老朽化したベンチを、安全性・機能性にとんだベンチに交換したり、黒ずんだ遊具（汽車）のペンキの塗り替えを行ったりして、より一層、来園者の心を癒すような憩いの場となるよう提言いたします。

なお、ベンチは全部で10個あり、内1個は黄色の丸形を基調としたベンチで機能性・安全性に富んでいます。他の9個はコンクリートが一部崩落したり、表面が変色したりしています。鉄棒やブランコ、滑り台は明るい基調のペンキが塗ってあるので、子供たちにもよく利用されています。

5 市道（歩道）に設置されている転落防止策（写真⑩、地図D）の補修【安全】

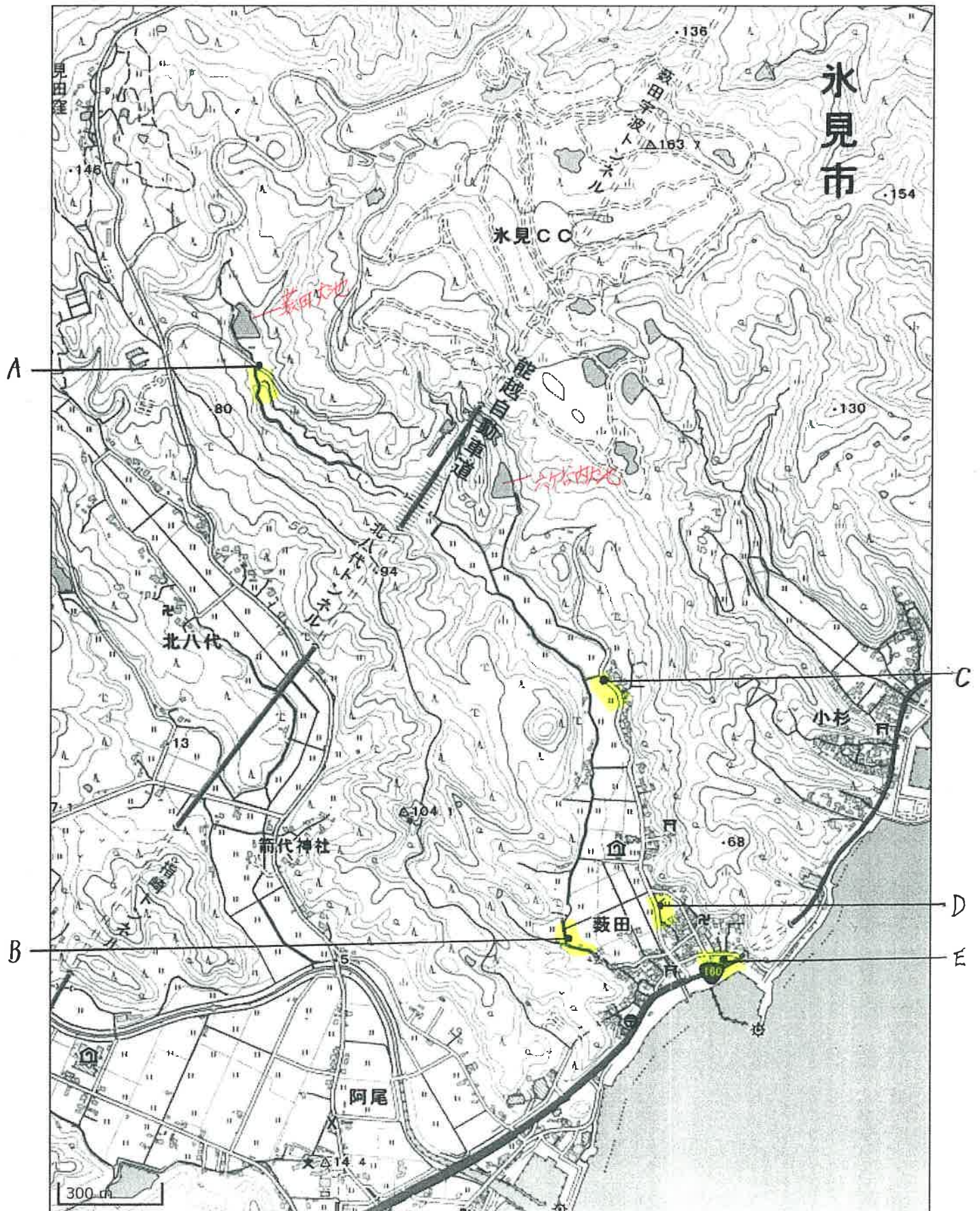
歩道沿い約90㍍に渡り、用水への転落を防ぐ安全柵が設置されていますが、腐食が激しく数か所が破損しています。用水の深さは2㍍以上あり、歩道を歩く高齢者や子供、よく散歩されているケアハウス利用者、村民等の転落による事故が懸念されます。

財政的な問題もありますので、全体改修が困難なら、腐食して危険な箇所だけでも改修をお願いします。

以上

地理院地図

GSI Maps



令和3年度 蕨田自治振興会 要望書添付写真1



写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥



写真⑦



写真⑧



写真⑨



写真⑩



写真⑪



写真⑫



写真⑬



写真⑭